



神奈川県イグレンニュース

<第189号>

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）
 発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：愛賢司
 〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル7F
 Tel./FAX 045-228-7331 <http://www.kanagawa-iguren.com>

2018年8月号

イベントのお知らせ

➔ 第46回 海老名サロン

日時	8月31日(金) 午後3時より
場所	神奈川中小企業センター6階大研修室 (JR 関内駅徒歩約3分)
内容	①「わが社の現状とプレス技術」 (株)秋元精機工業 専務取締役 秋元直人氏 ②「ものづくり補助金の必勝ポイント～採択をリアルに事業化に活かすには」 さがみはら表面技術研究所 須藤理枝子氏 ③「第1回ものづくり交流・政策研究会(7月27日開催)」報告 神奈川県異業種連携協議会事務局
参加費	参加費3,000円～3,500円(交流会費込み)

➔ 第77回 西湘サロン

日時	11月12日(月) 午後6時～8時(開場5時30分)
場所	おだわら市民交流センターUMECO (JR 小田原駅東口より徒歩約2分)
内容	話題提供：「保険屋が語るガンと地震の話！」 話題提供者：額田 雅之氏/野地 将平氏 皆様が意外と知らない保険の基礎の話、また、国民の2人に1人が患うと言う、日本人死亡要因1位のガンと、昨今各地で発生し、首都圏でもいつ起きてもおかしくないと言われている地震について、現役2名の保険営業マンにお話しして頂きます。
参加費	1,000円(当日)

※ どちらのイベントも詳細は最終ページをご覧ください。

皆さんの参加をお待ちしています。

今月のコンテンツ

- 1. 第45回海老名サロン報告..... 2ページ
- 2. 第61回「新事業・新技術支援フォーラム」議事録（レポート）..... 4ページ
- 3. 閑中閑話／編集後記..... 6ページ
- 巻末 第46回「海老名サロン」のご案内
第77回「西湘サロン」のご案内

➔ 第45回海老名サロン報告

- 1. 日 時 6月29日（金）15時～17時30分
- 2. 会 場 神奈川県中小企業センター6階特別研修室
- 3. 参加者 23人
- 4. 概 要

（1）イグレン専務理事 芝 忠氏から「中小企業のものづくりの課題と展望を考える」というタイトルで、イグレンが設立を準備している「ものづくり交流・政策研究会」の問題意識や目的について報告された。

①日本の製造業は近年の不正問題で信頼性が大きく揺らいでいる。

②海外に進出しようとしている企業も増えつつある一方で、依然として厳しい環境の下でも国内や県内で頑張って雇用の維持に貢献している企業もある。

③行政の海外進出支援策や企業誘致策を十分踏まえつつ、中小企業が国内で事業展開していくための戦略・方策を研究していく中で、自治体や国の政策に反映する提言をまとめる。特に、

ア. 中小企業にとって大きな課題である人材確保と育成—大学との交流・連携の推進、

イ. 中小企業振興条例の活用によるものづくりの振興策、

ウ. 中小企業庁の「中小企業省」への昇格、

エ. 神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市の協同による「技術振興機関」設立等の必要性と展望について問題提起を行った。

(2) 村富洋一横浜国立大学教授より、「中小企業のものづくり～課題と展望～」について自身の体験を踏まえた多岐にわたる報告がされた。

①日本の産業の国際競争力の考察 ー

ア. 2012年頃からグローバルニッチトップ産業が減少し、新しい価値の創造が不足している。

イ. グローバルニッチトップ産業は、大企業よりも意思決定の早い中小企業の方が向いている。

ウ. 地域中小企業の人的交流は進んでいるが新産業創出への組織化ができていないー脱下請けが不十分。

エ. 大企業が手を出さない100億～10億以下の市場規模からでもグローバルニッチトップな新産業創出を目指す場が必要ではないか？

②産学連携の実態 ー

ア. 大学と企業を繋いで共同研究契約の締結がゴールになっている。「入口」しかやらない連携。

イ. 紹介件数やシンポジウム回数等の短期の成果指標で評価し、事業化・産業化への指標は難しいから敬遠。

ウ. 楽な指標でリスク回避をしているので、無責任体制で活躍できないコーディネーター。

エ. 多くの人が賛同する開発しか手を出さない。野心的な研究開発に対しては冷遇しがち。

(以下次号)



→ 第61回「新事業・新技術支援フォーラム」議事録（レポート）

出席者(敬称略)：伊藤幸彦、森慎太郎、速石敏雄、栗田篤、荷宮博士、村上嘉男、村田和彦
芝忠、松井利夫（書記）

開催日時：平成30年7月4日(金) 14：10～16：40

開催場所：神奈川中小企業センタービル 6F 特別研修室

配布資料：「豪雨警戒情報提供システム」

報告概要は以下の通りです。

（速石） 先日、クローズマーケットで商売の枠を持っている人に会いました。そのマーケットに出品するための包装デザインが出来上がれば、一カ月以内に出荷の見込みが立ちそうです。また、「紅茶博士」という商標を特許庁に申請して許可になりました。

41年前の農業高校出身で有機農業により日本一の農家にしたいという熊本の人に会いました。この人は、「玄米博士」と名乗り、農家レストランを運営され、玄米おにぎり店「峠の元気屋」を博多駅や福岡の主要都市に6店舗を持ち、現在、全国を回って「玄米博士」として玄米食普及に努めている方です。その方とコラボしようという話になり8月に福岡に行く予定です。

水道水は、塩素が入っているので飲むと身体を酸化させてしまう。そこで、最近知った商品ですがアドバンスクレイで脱塩素したクラスターの小さい水やこの成分のモンモリロナイトの特徴を生かすための販売方法を模索している。このモンモリロナイトを使って処理している水にも関心がある。水そしてビタミンミネラルは体と心のバランスに不可欠である。紅茶博士を発信源として健康情報を発信して販売につなげたいと思っています。

（伊藤） 「豪雨警戒情報提供システム」について説明します。このシステムは、当社と国立研究開発法人「防災科学技術研究所」と共同研究・開発したシステムです。国交省提供の高解像度でリアルタイム性の高いXRAIN雨量データを利用している点で新しく、地上雨量計が無い地点も観測できるのが特徴です。

このシステムは、あらかじめ指定した地点の降雨状態を1分間隔で監視し、一定の降雨レベルに達した際に警報情報として多目的警報装置に音声・メッセージ表示や回転灯で知らせるシステムです。センサー観測情報を基にした警戒情報は、センサーが設置された場所に限定した、より実質的な冠水・浸水状況を知ることができ、降雨を伴わないような氾濫現象(例えば、想定外の排水不良・水道管破裂など)にも対応します。

また、防災管理者限定のWEBサイト上でリアルタイムに観測地点の降雨や警報発報の状況と過去の降雨や警報の履歴などの情報閲覧が可能です。

豪雨警戒情報提供のための装置とは、①多目的警報装置、②河川水位警報ユニット、③冠水警報ユニットです。町内会などで設置する場合の費用は、初期費用と月々の費用を合わせて年間120万円ほど掛かります。(注：XRAIN雨量データについては第60回のフォーラムで説明済)

(栗田) 静岡県日本平で、農地を利用した太陽光パネルの設置についていろいろと進めているが、工事上は完成しても農地法など経済産業省以外の行政上の問題があり、進捗が困難である。今後ソーラーシェアリング型の太陽光発電所の普及にはこの点が大きな課題になるだろう。

また、今後のメガソーラーの動向として、売電単価の低下による投資回収が困難になること、また山林など電力需要のない個所での設置が多いため、電力会社の送電設備が追い付かず千葉などでは変電所を作るまで待ってくれと言われている。

このように投資案件としての太陽光発電所は減少していくと考える。代わりに蓄電池の需要は伸びている。例えば、富士山などは世界遺産に登録されたので発電機が使用できない。その様な場所での工事電源や、安全確保の設備が求められており、伊藤社長に相談し、検討に入っている。

また、つくばみらい市に自社の太陽光設備を設置し、蓄電池などの実験場として活用することを計画している。



→ 閑中閑話

最近居酒屋に入って気がついたことがあります。どこの店でも日本酒の一番安いのは松竹梅の「豪快」です。行きつけの店のマスターに訊いたところ、「宝酒造さんは強いです」。その理由は地域にある営業所員の数が他の酒造メーカーよりはるかに多く、営業力が比べ物にならない。酒の仕入れ価格は他と変わりが無いが、「日本酒用の徳利・お猪口、焼酎用のグラスは必要な数だけ無料ですぐ持ってくるので、消耗品コストが馬鹿にならないくらい助かる」とのこと。どの社会でも「大資本」の支配力は大変なものだ。やはりちょっと高くとも悪酔いしない個性のある中小地酒メーカーの純米酒をこれからも飲むことにしよう。(愛)

→ 編集後記

暑かったり急に涼しくなったり、連続の台風の来襲。とにかく異常気象です。皆さんくれぐれも体調管理に怠りなきよう元気に秋を迎えましょう。(愛)



神奈川県異業種連携協議会

交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】	①②③宮川 豊 ④⑤荒 直孝
【火】	①②④⑤児玉 英二 ③愛賢司
【水】	①菊地 ②指方 ③加藤 ④愛 ⑤芝
【木】	①②③④⑤松井 利夫
【金】	①愛賢司 ②指方 順一郎 ③④⑤織方
【土、日、祭日】	休業

神奈川県イグレン事務局

〒231-0015

横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 7階 インキュベートルーム 703号

T/F 045-228-7331 URL : <http://www.kanagawa-iguren.com>

Mail : iguren@kanagawa-iguren.com

第46回海老名サロン開催要領

I. 日 時 8月31日(金)午後3時より

II. 会 場 神奈川中小企業センター6階大研修室

(横浜市中区尾上町5-80)

*根岸線「関内駅」北口改札口右側出て、線路沿い桜木町駅方面徒歩4分

III. 進 行 (時間配分は質疑も含む目安です)

1. 資料確認 (3時~3時15分)

2. 報告と問題提起

(1)「わが社の現状とプレス技術」 (3時15分~4時)

(株)秋元精機工業 専務取締役 秋元直人 氏

(2)「ものづくり補助金の必勝ポイント~採択をリアルに事業化に活かすには」

さがみはら表面技術研究所 須藤理枝子 氏

(4時~5時)

(3)「第1回ものづくり交流・政策研究会(7月27日開催)」報告

神奈川県異業種連携協議会事務局

気軽に周りのご友人をお誘いください。

3. 交流会 会場は未定です。 参加費3,000円~3,500円

4. 出欠連絡 ア サロン(主席 欠席) 交流会(出席 欠席)

所属・ご職名

ご芳名

ご本人以外の参加者ご職名・ご芳名

FAX 045-228-7331

地域の幅広い人材交流を目指した「神奈川新産学公交流サロン」
第77回西湘サロン開催のお知らせ

【日時】：平成30年11月12日（月）午後6時～8時（開場5時30分）

【場所】：おだわら市民交流センター**UMECO** (TEL:0465-24-6611)

【会費】：参加費1,000円（当日）

* 次回 78回予定：平成31年1月15日（火）（開催時間、場所は今回と同じ予定です）



1. 話題： **保険屋が語るガンと地震の話！**

皆様が意外と知らない保険の基礎の話、また、国民の2人に1人が患うと言う、日本人死亡要因1位のガンと、昨今各地で発生し、首都圏でもいつ起きてもおかしくないと言われている地震について、現役2名の保険営業マンにお話しして頂きます。

話題提供：額田 雅之氏 不動産会社、保険会社を経て保険営業を生業とする傍ら、神奈川県がん対策推進員やマンション管理士としても活動している。また小田原箱根商工会議所青年部メンバーとして地域の活動などにも積極的に参加している。猫大好き。

話題提供：野地 将平氏 自動車会社、保険会社を経て自動車や損害保険について学びながら、(有)澤地自動車の後継者として自動車の販売や整備のサポートも行っている。現在宅建士と自動車整備士2級の勉強中。ボーリングはプロ級。

2. テーブルディスカッション（ビール、つまみを用意します）

テーブルを囲み、自由に討論・交流を行います。

団体での参加申し込み先：神奈川県異業種連携協議会事務局

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階

Tel & Fax 045-228-7331 (担当：吉池)

3. 場所



JR 小田原駅東口より徒歩約2分です。

住所：小田原市栄町一丁目1番27号（駅東口駐車場1階）(TEL:0465-24-6611)



個人で参加される方は、申し込みの必要がありません。多人数で参加される方は会場の準備の都合もありますので下記参加申込書で参加人数を教えてください。

参加申込書（西湘サロン）Tel & Fax 045-228-7331

氏名	(参加人数： 名)	所属・役職	
住所		電話番号	()
		FAX番号	()